保土ケ谷保育園　2018年　月間指導計画　9月　2歳児 うさぎ組　園長印　担任印

ねらい	・保育者や友だちと一緒に、十分に体を動かして遊ぶ。 ・自分の気持ちや出来事を、言葉で伝えようとする。 ・着替えや排泄など身の回りのことを、自分でできるようにする。	行事	プール終い 避難訓練	長時間保育	・落ち着いて好きな遊びを楽しめる環境を設定する。 ・ゆったりと関わり、安心して過ごせるようにする。	家庭連携	・健康状態を密に伝えていくと共に、早めの受診を勧めていく。 ・個々の排泄の様子を伝え、家庭との連携を図りながら、トイレトレーニングを進めていく。	自己評価	
今月の内容(養護・教育)		環境構成				配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り	
・一人一人の体調に留意しく水分や休息を十分にとれるようにする。 ・食材の名前を知らせるなどしながら、楽しい雰囲気のなかで食事ができるようにする。 ・散歩を通して秋の自然物を探索したり季節の移り変わりを感じる。 ・友だちと関わりを持って遊び、「かして」「どうぞ」「～したい」など、自分の思いを伝えようとする。		・体をたくさん動かして遊んだ後は、落ち着いて過ごせる室内環境を整える。又、水分補給もしっかり行う。 ・絵本や手遊びなどで、食べ物に関心を持てるようにする。 ・落ち着いて身の回りの事ができるように時間に余裕を持って進めるようにする。 ・つもり遊びやごっこ遊びなどが広がるように、棚やパーテーションでコーナー作りをする。			・夏の疲れが出てくる時期なので、一人一人の体調に留意し十分に休息を取れるようにする。 ・食事では食べる意欲を見守りながら、手伝ってほしい子には介助して機嫌よく食べられるようにする。 ・不安定な時や甘えたい時は、気持ちに寄り添い安心できるように関わっていく。 ・子ども同士の関わりを見守り、言葉で思いを伝えることを知らせながら、仲立ちを行っていく。			